

学長記者懇談会

交わりの形成拠点 GYM LABO

 Kyushu Institute of Technology

1

創立110周年記念事業として大胆にリノベーション 産学官の交わりの形成拠点へ



改修前の旧体育館



GYM LABO 完成イメージ

知と技術の集積地である九州工業大学を起点に
産学官一体となったオープンイノベーションを実現する

 Kyushu Institute of Technology

2

プロジェクトの背景

九工大はこれまで教育や研究、産学連携で高い成果をあげてきた。
教育研究活動のさらなる活性化のためには、

✓ 学内で生み出された人材・技術・設備の有機的な交わり

✓ 多様なステークホルダーが交わる拠点形成

が必要だと考えた。

イノベーション commonsの 創出へ

- あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレーヤーがともに創造活動を展開（共創）できる空間
- キャンパス全体が有機的に連携し、ソフト・ハードが一体となった「共創の場」
- 教育研究の高度化・多様化・国際化、地域や産業界との連携協力の推進に貢献



「つながる」ことで生まれるシナジー効果による
「共創の場」

イノベーション
コモンズ構想
【飯塚】



- ✓ 産学連携等を中心に、多目的に利用可能
- ✓ タイム・シェアリングできる空間の設置
- ✓ ニーズ・シーズを発信し、学生や来訪者がムアリング（繋留）する・できる空間



- ✓ ネットワークを通じて、外部やバーチャルとも接続
- ✓ GYM LABO（戸畑キャンパス）との連携

Kyushu Institute of Technology

5

GYM LABO（ジムラボ）

イノベーションハブとしての役割

九工大が持つ「人材・知識・技術・設備」を有機的に結びつける交わりの形成拠点として、設備も機能もオープンにそしてフレキシブルに活用できる施設

2021年春 着工
2022年春 完成予定

名称の由来
GYM LABO（ジムラボ）
GYM = 体育館



Kyushu Institute of Technology

6

GYM LABO (ジムラボ)

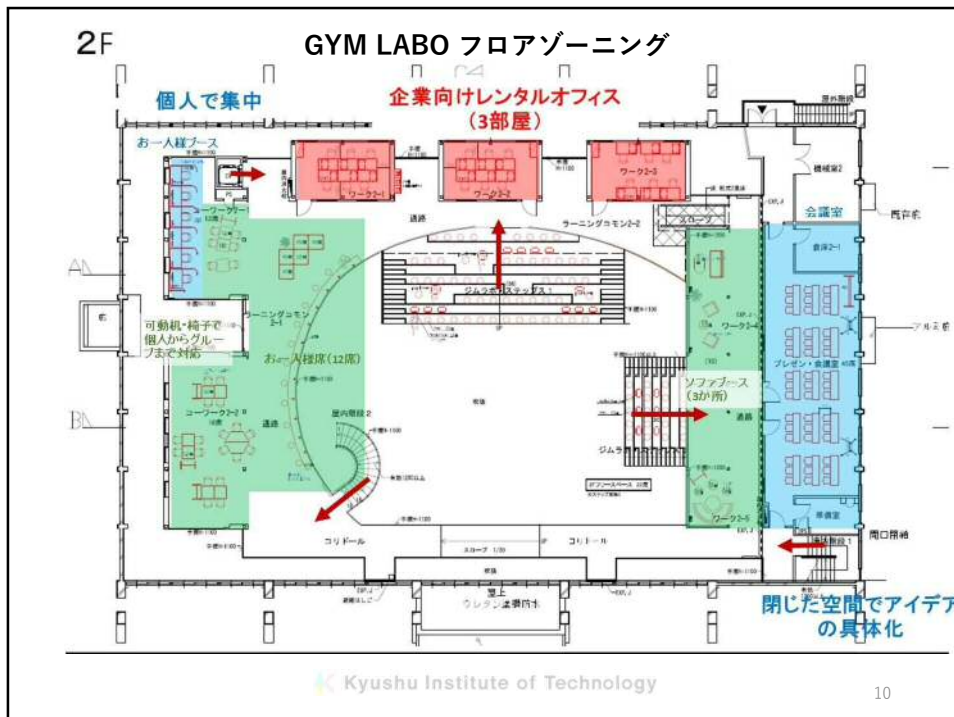
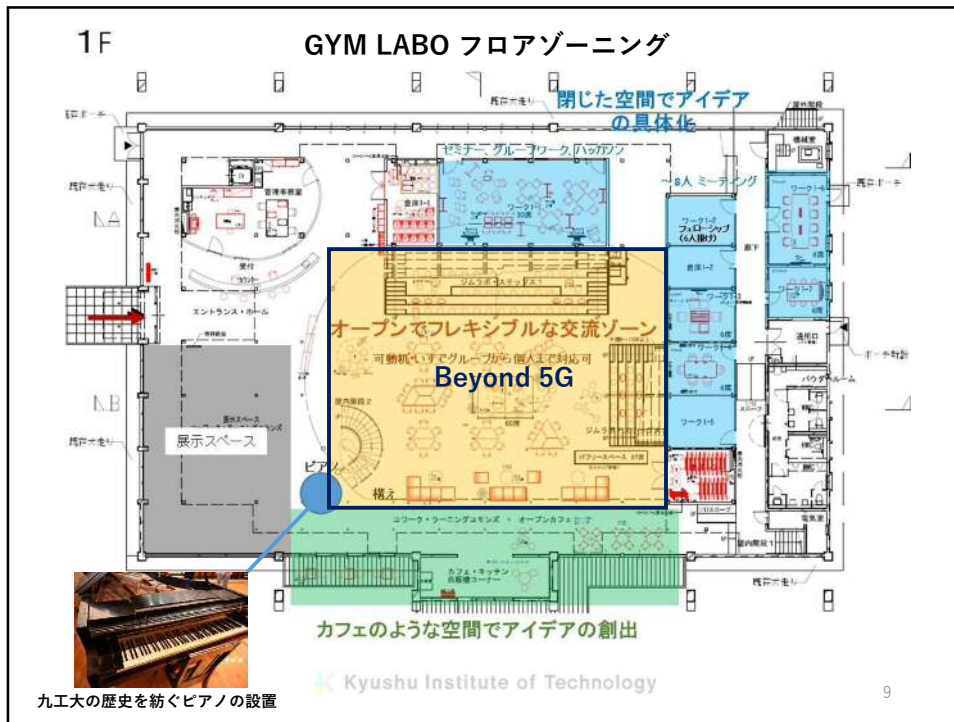
GYM LABOにインストールする機能

- 1 九工大が持つ知識・技術・設備を有機的に結びつける交わりの形成拠点としての機能
- 2 九工大が長い歴史の中で培ってきた知見・技術を、見て触れる展示スペースを整備
- 3 リアルとバーチャル（Web会議等の環境整備）の融合空間で、産学官一体となった共創活動を実現
- 4 九工大が生み出した技術シーズを社会実装するための事業化支援
- 5 九工大が持つ知識・技術・設備を生かした、企業が持つ技術課題の解決策の提案と実践

GYM LABO (ジムラボ)

交わりの形成拠点化のためのステップ





■ Design Concept & Process デザインコンセプトとプロセス

「九工大の歴史継承と新しい技術・交わりの形成」

九工大で110年にわたって進められてきた研究・技術開発

- ・九工大の技術を旧体育館の再生デザインで体現
- ・大学と企業の連携
- ・研究開発の進展を促す
- ・異分野との交流を図る
- ・110年の歴史に培われてきた九工大の歴史継承

異なる分野の企業・研究者・学生の交流/イノベーションを生み出す空間再生デザインへ

旧体育館のデザイン・シンプルで優れた構造へのリスペクト

“内在する「黄金比」”

GYMLABOの内と外のデザインにつなぐ

■ Architectural Design 建築デザイン

既存の壁面を活かしながら一部開放することで、南側グラウンドの空間との連続性を図ると共に、西側エントランスから内部の活動の可視化を考えて計画・設計

旧体育館の特徴的な外観であったアーチ状のバットレス、タイル壁、2Fの南面の明るい開口を活かす、リノベーションならではのデザインとしました。加えて、1Fの壁面を大胆に抜くことで、気軽に立ち寄れる解放感を実現しています。

■ Architectural/Interior Design 建築内部のデザイン



体育館に内在した黄金比から導かれた曲率と曲線から2Fを構成し、そこから1階の中央にある活動の中心としてのアゴラとを有機的に接続することで、多様な居場所を創出し、利用者の活発なアクティビティを誘発する。また、設備面では壁面緑化やスポット空調などエネルギー効率についても検討し、設計。



中央部に広場をつくるように2Fにぐるっと新設の床を設けています。北側と東側に設けた大階段は、客席、ベンチ、ステージなどの多様な使い方、1Fと2Fをつなげます。

13

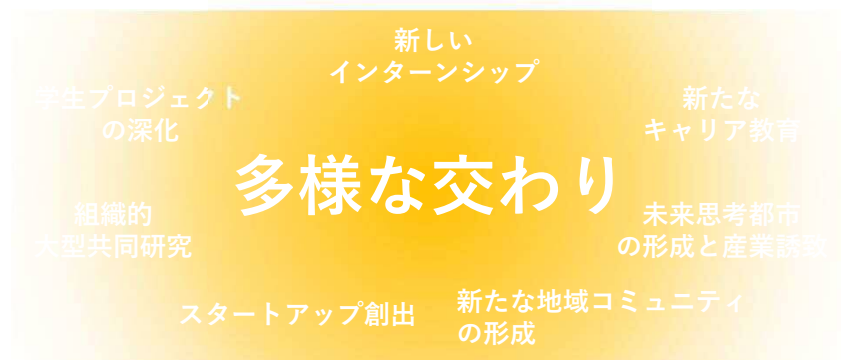
■ Landscape Design ランドスケープデザイン

- ・GYMLABO内部と外部の接続
- ・大学院生・学部生の協働WSによるベンチ等ストリートファニチャーの設計/施工
- ・九工大の技術を活かしながら多分野の協働による設計
- ・キッチンカー・外カフェとコラボ
- ・110年の歴史とキャンパスの豊かな自然・生物多様性の保全



キャンパスの生物多様性保全などSDGs達成に向けた取り組み

期待される効果



産業界と共創して一層の研究・教育力向上とともに、企業や地域の発展に貢献するべく、研究・教育活動を促進してまいります

GYM LABO の概要

■ 九工大の共創パートナー（コンソーシアム会員）が利用可能

- ・ 学内関係者は自由に利用可能
- ・ 学外利用者は、有料会員制（企業単位、個人単位）

■ 運営は専門家に外部委託し、場の活性化を加速します

- ・ コワーキング運営業者のノウハウを積極導入⇒単なる場所貸しだけでなく、イベント企画・運営まで対応
- ・ 場と人のつながりを可視化するICTツールの導入

■ 設備概要

- ・ 総面積：1,892㎡
- ・ 戸畑キャンパス唯一の学外利用者用のWi-Fi環境整備
- ・ 常時60名が利用できるオープンエリア
- ・ イベント開催時は、200名以上が収容可能
- ・ 6名用会議スペース×5、8名会議スペース×1
- ・ 30名用セミナースペース×1、45名用セミナースペース×1
- ・ 企業向けレンタルオフィス×3
- ・ 個人スペース×18
- ・ その他カフェスペース等

GYM LABO（ジムラボ）は、グローバルな、人材、アイデア、シーズなどを有機的に結びつける交わりの形成拠点として、2022年春にオープンします。本学で学ぶ、知を接続し、組み合わせ、さらには世界を見据え、未来を考えることができる若い人材を起点に、社会との多様な共創活動を生み出していきます。九州工業大学は、交わりの形成拠点となるGYM LABOから産官学一体となったイノベーションの創出に寄与してまいります。

